

受付番号 No. 5

令和 6 年 11 月 26 日 (午前) 午後 8 時 30 分受領

令和 6 年 11 月 25 日

日出町議会議長 金元 正生 様

議員番号・氏名 11 番 岩 尾 幸 六

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 町内で発生した猪被害について	11月に発生した猪被害について確認します。 日出町では、11月10日に散歩中の高齢者が猪に襲われ重傷を負いました、更に14日早朝には、仁王で子育て世代の主婦より猪の目撃情報が寄せられた。このような場合の町の対応について問う。	① 10日の被害後、猪は逃走したとの事であるが、何処へ逃げたのか近隣の安全性を確認したのか ② 14日の仁王で目撃情報が寄せられたが、情報の対応について調査結果は ③ 通学路での猪やその他の鳥獣の目撃情報が寄せられた場合の対応は	
2 町内の鳥獣被害と今後の対応について	今年も、町内各地で猪やタヌキ、カラスによる農作物の被害が例年以上に多いと耳にする機会が増加した。そこで猟友会に猪の捕獲情報を確認すると例年以上に猪の捕獲数が多いとの声が聞かれた。 捕獲数と反比例し農作物被害が減少すれば良いが、農作物の被害は増加傾向に有るので町の対応を問う。	① 町内の猟友会員の免許事の人数は 網猟・罟・銃猟免許ごと ② 猟友会員減少の歯止め策と会員増加策は ③ 今年の猪・鹿などの捕獲数は昨年と比較し増加しているのか ④ 町内に設置している罟の数は妥当か ⑤ 猟友会が使用する駆除許可標識は700から500に減少したがその理由は	



質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
		⑥ 猟友会では町所有の小動物用の箱罟を 20 基ほど増加希望が有るが可能か ⑦ 小動物用箱罟を個人購入する場合の補助制度の導入は可能か ⑧ 農産物被害のマップ作成計画は	
3 地震に備えた家具転倒防止の補助制度について	近年、どの市町村も巨大地震の備えとして家具の転倒防止が有効手段であると言われ様々な補助制度が存在している。 わが町でも、県の補助事業として平成 26 年から 29 年度までの 4 年間、家具転倒防止の補助制度が存在していたが利用者数が少ないとの理由で廃止した経緯があったが、今年、再度家具転倒防止の補助事業が復活した事は、巨大地震の備えとしては大変効果が期待できる事業である。前回利用者が少なく廃止に至ったが、今回の事業ではどの様にして利用者増加に結び付けるのかその取組について問う。	① 平成 29 年に事業廃止したが、復活の理由は ② 今回の事業内容は、65 歳以上の高齢者世帯又は障がい者世帯が対象であるがその理由は ③ ジグ取付け対象世帯は何世帯存在するのか ④ 今回、ジグ取付けには日出町防災士会が関るが、防災士会の関りと取付けの個人負担について聞きます ⑤ 補助対象は、過去にこの補助金の交付を受けてない世帯と成っているが過去を削除出来ないか（複数回可能に） ⑥ 町民税非課税世帯にはジグ購入費や取付けの無料化を願う	